



おせったい in おおた

私たちの子どもの頃、おせったいの日には大きなビニール袋とお賽銭を握りしめ、周辺の大人たちの情報をもとに、自転車に乗っておせったいの家々を駆け巡ったことを思い出します。

最近では、地域に子どもの姿が見えなくなり、おせったいをやめようという地域も少なくありません。私たちは地域の伝統文化や風習を次代を担う子どもたちに伝えて行きたいと思い、このような「おせったいマップ」を作成しました。

春の陽気に誘われて「おせったい周り」をしてみたいはいかがでしょうか？

おせったいとは・・・

真言宗開祖・弘法大師空海が入定した3月21日を縁日としてお弘法さまの徳を偲ぶとともに「外から来た人を温かく迎えてもてなすことで自己へ幸福と繁栄が回ってくる。」という教えから、国東地方一帯にはじまったと伝えられています。

今ではこの国東半島の貴重な風習になっています。

3月20日（春分の日）

おおよそ13時ぐらいから

時間は午前中から行う地域もありますが、地域ごとに異なります。おおよそ13時～15時ぐらいの時間帯はどの地域も行っているようです。詳しくはその周辺の方に訪ねてください。



大田ふるさとづくり協議会
企画調整部

10年前は約40ヵ所のおせったいがありましたが、現在は14～15ヵ所程度となっています。コロナ禍で取りやめをした地区が多いと聞いていますが、地域の貴重な民俗信仰文化として続く限り、継承できればと思います。

